

## はじめに

本学の大学入試センター試験利用入試では、大学入試センター試験の成績を利用して、各学部が指定する教科・科目についての高等学校での学習の達成度を測り、大学で学ぶための基礎的な学力を持つ者を受け入れます。

立教大学で学ぶことを希望する皆さんの出願を歓迎します。

## 目次

入学試験要項について	1
テレフォンサービス	1
個人情報の取扱について	1
募集人員および大学入試センター試験のうち、 本学が指定する教科・科目	2
出願資格	8
試験日程	8
出願方法	8
選考料	9
出願書類	10
入学志願票記入上の注意	11
受験票の交付	15
合格発表	15
入学手続	16
入学辞退	18
入学者健康診断	18
寄付金の募集	18

## 入学試験要項について

この「入学試験要項 大学入試センター試験利用入試編」には、大学入試センター試験利用入試の出願から入学手続までの事項が記載されています。はじめによく読み、間違えのないように注意してください。文中に指示がある場合には「入学試験要項 一般入試（個別学部日程）編」を参照してください。

## テレフォンサービス

志願状況について、テレフォンサービスでお知らせしていますので利用してください。電話番号を間違えないように十分注意してください。

期間：2007年1月11日(木)～2月14日(水)

電話：03-3985-2822（プッシュ回線のみ利用可、携帯電話・PHSとも利用可）

0180-99-3333（プッシュ回線・ダイヤル回線とも利用可、携帯電話のみ利用可《一部利用できない機種もあります》）

期間中はインターネットでも志願状況をお知らせします。

立教大学ホームページアドレス <http://www.rikkyo.ac.jp/>

立教大学モバイル・インフォ <http://www.rikkyo.ac.jp/m/>

i-mode・EZweb・Yahoo!ケータイ（旧Vodafone live!）にて閲覧できます。

なお、交通混乱等により試験開始時刻の繰り下げ等の措置をする場合には、0180-99-3333でお知らせします。

## 個人情報の取扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験の実施（出願処理・試験実施）、②合格発表、③入学手続、④教学にかかわる調査・統計資料（個人情報が特定できない形での数値化）の作成、ならびにこれらに付随する事項を行うために利用します。

上記の業務は、その一部の業務を立教大学入学センターより当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」といいます。）において行います。業務委託にあたり、受託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。あらかじめご了承ください。

立教大学のプライバシーポリシーについては、<http://www.rikkyo.ne.jp/info/kjinfo/>をご覧ください。

# 1. 募集人員および大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目

大学入試センター試験のうち、以下の教科・科目を受験してください。受験した科目の得点を合計し、その高得点順に合格者を決定します。

学部	学 科・専 修	募集人員	教 科	科 目	配 点			
文 学 部	キリスト教 学 科 史 学 科	約 5 名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから 1 科目選択	200※1			
		約20名	国語	『国語』	200			
	文 学 科 ドイツ文学専修 フランス文学専修 日本文学専修 文芸・思想専修	約 5 名 約 5 名 約10名 約 5 名	ら 右 1 記 科 の 目 4 選 教 ※ 科 2 の う ち か	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから 1 科目選択	200※1		
				公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから 1 科目選択	200※1		
				数学	①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』	200※1 200※1		
				理科	①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから 1 科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」	200※1 200※1 200※1		
	文 学 科 英米文学専修	約20名	ら 右 1 記 科 の 目 4 選 教 ※ 科 2 の う ち か	外国語	『英語』	400※1		
				国語	『国語』	200		
				地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから 1 科目選択	200※1		
				公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから 1 科目選択	200※1		
				数学	①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』	200※1 200※1		
				理科	①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから 1 科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」	200※1 200※1 200※1		
				教 育 学 科	約10名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから 1 科目選択	150※1
						国語	『国語』	150※1
			ら 右 2 記 科 の 目 4 選 教 ※ 科 2 の う ち か	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから 1 科目選択	100		
公民				「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから 1 科目選択	100			
数学※ 3				①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』	100 100			
理科※ 4				①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから 1 科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」	100 100 100			

学部	学 科		募集 人員	教 科		科 目	配 点		
経 済 学 部	3 教 科 型	経済学科	約15名	外国語		『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150※1		
		会計ファイナンス学科	約10名	国語		『国語』	150※1		
		経済政策学科	約10名	択右 ※記 2の 4教 科の うち から 1科 目選	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから1科目選択		100	
					公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから1科目選択		100	
					数学	①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』のうちから1科目選択 ただし、「工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』は、高等学校(中等教育学校後期課程含む)で履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を修了した者(見込み含む)に限る。		100 100	
					理科	①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」		100 100 100	
		4 教 科 型	経済学科	約20名	外国語		『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150※1	
			会計ファイナンス学科	約15名	国語		『国語』	150※1	
			経済政策学科	約15名	択右 ※記 2の 4教 科の うち から 2科 目選	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから1科目選択		100
						公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから1科目選択		100
数学※3	①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』『工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』のうちから1科目選択 ただし、「工業数理基礎』『簿記・会計』『情報関係基礎』は、高等学校(中等教育学校後期課程含む)で履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程を修了した者(見込み含む)に限る。					100 100			
理科※4	①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」					100 100 100			

学部	学 科		募集 人員	教 科	科 目	配 点	
理 学 部 ※ 5	数 学 科		約5名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200※1	
				国語	『国語』	200	
				数学	『数学Ⅰ・数学A』	100	
					『数学Ⅱ・数学B』	100	
				理科	右記の3科目のうちから2科目選択※2 ①「物理Ⅰ」 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」	100 100 100	
	3 教科 型	物 理 学 科		約5名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200※1
					数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
						『数学Ⅱ・数学B』	100
					理科	右記の3科目のうちから1科目選択※2 ①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」	100 100 100
	4 教科 型	物 理 学 科		約5名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200※1
					国語	『国語』	200
					数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
						『数学Ⅱ・数学B』	100
					理科	「物理Ⅰ」	100
						右記の2科目のうちから1科目選択※2 ①「化学Ⅰ」 ②「生物Ⅰ」	100 100
					3 教科 型	化 学 科	
	数学	『数学Ⅰ・数学A』	100				
		『数学Ⅱ・数学B』	100				
	理科	「化学Ⅰ」	100				
	4 教科 型	化 学 科		約5名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200※1
					国語	『国語』	200
					数学	『数学Ⅰ・数学A』	100
						『数学Ⅱ・数学B』	100
理科					「化学Ⅰ」	100	
					右記の2科目のうちから1科目選択※2 ①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「生物Ⅰ」	100 100	
生 命 理 学 科					約5名		約5名
	国語	『国語』	200				
	数学	『数学Ⅰ・数学A』	100				
		『数学Ⅱ・数学B』	100				
	理科	右記の3科目のうちから2科目選択※2 ①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」	100 100 100				

学部	学 科		募集 人員	教 科		科 目	配 点	
社会 学部	3 教科 型	社会学科	約10名	外国語		『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150※1	
		現代文化学科	約10名	国語		『国語』（近代以降の文章、古文）	100※1	
		メディア社会学科	約10名	ら右 1記 科の 目4 選教科 ※の 2うち か	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから1科目選択		100
					公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから1科目選択		100
					数学	①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』		100 100
					理科	①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」		100 100 100
	4 教科 型	社会学科	約10名	外国語		『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200※1	
		現代文化学科	約10名	国語		『国語』（近代以降の文章、古文）	200※1	
		メディア社会学科	約10名	科の右 目記 選の ※2教科 21	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから1科目選択		100
					公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから1科目選択		100
					数学	①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』		100 100
					理科	①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」		100 100 100
法 学部	3 教科 型	法学科	約10名	外国語		『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150※1	
		政治学科	約5名	国語		『国語』（近代以降の文章、古文）	150	
		国際ビジネス法学科	約5名	ら右 1記 科の 目4 選教科 ※の 2うち か	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから1科目選択		100
					公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから1科目選択		100
					数学	①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』		100 100
					理科	①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」		100 100 100
	4 教科 型	法学科	約10名	外国語		『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200※1	
		政治学科	約5名	国語		『国語』（近代以降の文章、古文）	200※1	
		国際ビジネス法学科	約5名	科の右 目記 選の ※2教科 21	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから1科目選択		100
					公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから1科目選択		100
					数学	①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』		100 100
					理科	①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」		100 100 100

学部	学科	募集人員	教科	科目	配点		
観光学部	観光学科	約20名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200※1		
	交流文化学科	約15名	国語	『国語』	200		
			右記のうちから3教科のうちから2科目選択※2	地理歴史	『世界史B』『日本史B』『地理B』のうちから1科目選択	100	
				数学	『数学II・数学B』	100	
				理科※4	①「物理I」「地学I」のうちから1科目選択 ②「化学I」 ③「生物I」	100 100 100	
コミュニティ福祉学部	福祉学科	約15名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150※1		
	コミュニティ政策学科	約15名	国語	『国語』（近代以降の文章）	100		
			右記のうちから4教科のうちから1科目選択※2	地理歴史	『世界史B』『日本史B』『地理B』のうちから1科目選択	100	
				公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』のうちから1科目選択	100	
				数学	①『数学I・数学A』 ②『数学II・数学B』	100 100	
理科	①「物理I」「地学I」のうちから1科目選択 ②「化学I」 ③「生物I」	100 100 100					
経営学部	3教科型	経営学科	約15名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150※1	
		国際経営学科	約5名	国語	『国語』（近代以降の文章、古文）	100※1	
				右記のうちから4教科のうちから2科目選択※2	地理歴史	『世界史B』『日本史B』『地理B』のうちから1科目選択	100
					公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』のうちから1科目選択	100
					数学	①『数学I・数学A』 ②『数学II・数学B』	100 100
	理科	①「物理I」「地学I」のうちから1科目選択 ②「化学I」 ③「生物I」	100 100 100				
	4教科型	経営学科	約10名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	150※1	
				国語	『国語』（近代以降の文章、古文）	100※1	
		国際経営学科	約5名	右記のうちから2教科のうちから1科目選択※2	地理歴史	『世界史B』『日本史B』『地理B』のうちから1科目選択	100
					公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』のうちから1科目選択	100
右記のうちから2教科のうちから1科目選択※2				数学	①『数学I・数学A』 ②『数学II・数学B』	100 100	
理科	①「物理I」「地学I」のうちから1科目選択 ②「化学I」 ③「生物I」	100 100 100					

学部	学 科	募集人員	教 科	科 目	配 点	
現代心理学部	心 理 学 科	約20名	外国語	『英語』	200※1	
			国語	『国語』（近代以降の文章、古文）	150	
			ら 右記の4教科のうちから1科目選択※2	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから1科目選択	100
				公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから1科目選択	100
				数学	①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』	100 100
	理科	①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」			100 100 100	
		映 像 身 体 学 科	約25名	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』のうちから1科目選択	200※1
				国語	『国語』（近代以降の文章、古文）	150
	ら 右記の4教科のうちから1科目選択※2			地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」のうちから1科目選択	100
				公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」のうちから1科目選択	100
数学				①『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ・数学B』	100 100	
		理科	①「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」のうちから1科目選択 ②「化学Ⅰ」 ③「生物Ⅰ」	100 100 100		

《注意》大学入試センター試験利用入試を実施する全ての学部・学科・専修において、本学独自の試験は課しません。

※1 大学入試センター試験の満点を上記配点に換算します。

※2 指定科目数以上の科目を受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用します。

※3 「数学」は①②いずれかを受験することも、すべてを受験することも可能です。

※4 「理科」は①②③いずれかを受験することも、すべてを受験することも可能です。

※5 理学部入学後の授業は、「数学Ⅲ」、「数学C」の履修を前提として行います。また、物理学科では入学後「物理Ⅱ」の内容を理解していることを前提とする授業があり、化学科では、入学後「化学Ⅱ」の内容を理解していることを前提とする授業があります。

【備考】『英語』リスニング試験の得点を全学部・学科・専修で利用します。ただし、『英語』リスニング受験者の得点は250点満点を0.8倍し、外国語他科目と同じ200点満点に得点調整を行います。

## 2. 出願資格

以下のAおよびBの両方を満たす者。

A. 以下のいずれかの要件を満たす者。

1. 高等学校(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2007年3月卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2007年3月修了見込みの者。
3. 学校教育法施行規則第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2007年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
  - (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2007年3月31日までに修了見込みの者。またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
  - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2007年3月31日までに修了見込みの者。
  - (3) 文部科学大臣の指定した者。
  - (4) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規程による廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)および2007年3月31日までに合格見込みの者。
  - (5) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。

B. 「平成19年度大学入試センター試験」で、本学の指定する教科・科目(2～7頁参照)を受験する者。

《注意》上記の出願資格において「見込み」で受験して合格し、出願資格に必要な要件を2007年3月31日までに満たせない場合は、入学が許可されないこととなりますので、注意してください。

## 3. 試験日程

出願期間	2007年1月9日(火)～1月19日(金)(郵便局消印有効)
合格者発表日時	2月15日(木)11:00
第1次手続締切日	2月23日(金)
第2次手続締切日	3月12日(月)
延納手続者 第2次手続締切日	3月23日(金)

※立教大学独自の個別学力試験は課しません。

## 4. 出願方法(郵送に限ります)

1. 出願受付期間は**2007年1月9日(火)～1月19日(金)**です(締切日の郵便局消印有効)。
2. 本学所定の大学入試センター試験利用入試出願用封筒(桃色)を使用して、**配達記録・速達**で郵送してください。

《注意》(1) 出願後の学部・学科・専修の変更および教科型の変更は、いかなる理由があっても認めません。

- (2) 出願書類に不備がある場合は、受け付けません。
- (3) いったん提出された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (4) 身体の機能に著しい障害がある者は、障害の状況によっては、学部・学科・専修によりカリキュラムの履修が事実上不可能な場合もありますので、出願に先立って2006年12月8日(金)までに入学センター(☎03-3985-3293)に問い合わせてください。

## 5. 選考料 1 学科・専修 15,000円

選考料は最寄の金融機関、もしくはコンビニエンスストア（ローソン、セブン-イレブン、サークルK、サンクス、ファミリーマート）のいずれかから納入してください。

### 1. 金融機関での納入の場合

- (1) 「大学入試センター試験利用入試用」の入学志願票（A・B・C票）を使用して、金融機関から電信扱いで振り込んでください（ATM機による振り込みはできません）。また、郵便局は利用できません。
- (2) 金融機関振込期間は**2007年1月9日（火）～1月19日（金）**です（締切日の金融機関収納印有効）。
- (3) 振り込み後、A・C票を受け取り、A・C票に収納印が押されていることを必ず確認してください。
- (4) C票（領収書）は本人が大切に保管してください。

### 2. コンビニエンスストアでの納入の場合

- (1) ローソンで納入する場合は、情報端末Loppiを利用してください。セブン-イレブン、サークルK、サンクス、ファミリーマートを利用する場合は、パソコンもしくは携帯電話(i-mode、Ezweb、Yahoo!ケータイ〔旧Vodafone live!〕)から「受験料コンビニ支払いサイト (URL: <http://e-shiharai.net/>)」へ接続し、受付番号を取得してからコンビニエンスストアで納入してください（セブン-イレブン、サークルK、サンクスで納入する場合は店頭レジにてお支払いください。ファミリーマートで納入する場合は、情報端末Famiポートを利用してください）。実際の納入手順および納入期間については、同封の「コンビニエンスストアでの選考料納入方法」を参照してください。
- (2) 納入後に発行される「入学検定料・選考料取扱明細兼受領書」の「収納証明書」をハサミで切り取り、「センター試験利用入試用」の入学志願票（A票）の右下の収納証明書貼付欄にのりで全面貼付してください。コンビニエンスストアが発行する「入学検定料・選考料取扱明細兼受領書」は、大切に保管してください。
- (3) 情報端末での操作については、**出願受付期間締切日当日は23:30までに**操作を終了するようにしてください。
- (4) 問い合わせ先  
受験料コンビニサポートセンター 03-5261-9725（毎日24時間対応）  
※コンビニエンスストア店頭ではお応えできません。

### 《選考料納入上の注意》

1. 現金、郵便為替等での出願は受け付けません。
2. コンビニエンスストアから選考料を納入した場合は、入学志願票（A票）の収納印は不要です。
3. コンビニエンスストアから選考料を納入した場合は、入学志願票（B・C票）は使用しません。自分で切り離してください。
4. **いったん納入された選考料は、返還しません。**ただし、下記(1)に該当し、かつ下記(2)の手続方法に則り、請求があった場合のみ選考料を返還します。
  - (1) 選考料の返還請求ができる場合
    - ① 選考料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
    - ② 選考料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。
    - ③ 選考料を誤って二重または過剰に納入した。
  - (2) 返還請求方法
    - ① 提出書類
      - i) 選考料返還請求願（大学所定用紙）所定用紙は入学センターにて配付します。
      - ii) 選考料領収書（入学志願票C票もしくは「入学検定料・選考料取扱明細兼受領書」）※コピー可  
なお、返金には提出書類到着後1か月程度かかります。
    - ② 請求締切  
2007年2月9日（金）必着
  - (3) 請求先および問い合わせ先  
立教大学入学センター 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1 ☎03-3985-3293

## 6. 出願書類

### 1. 入学志願票（A票）

- (1) 「大学入試センター試験利用入試用」の志願票を使用し、11～14頁の注意事項をよく読んで、間違えのないように記入してください。
- (2) A票の所定欄に出願前3か月以内に撮影した写真（タテ4cm、ヨコ3cm。半身脱帽、正面向き、背景のない、顔の鮮明なもの。白黒、カラーいずれでも可）を貼付してください。スナップ写真の切り抜き、デジタルカメラの写真等の不鮮明な写真は受け付けません。また、髪の毛が顔にかかっているなど、顔が判別しにくいものも避けてください。
- (3) 金融機関で選考料を振り込んだ場合は、金融機関の収納印が押されていることを、コンビニエンスストアで選考料を納入した場合は、「収納証明書」がのり付けされていることを、それぞれ確認して提出してください。

### 2. 調査書 1通

- (1) 高等学校卒業者および卒業見込者は、出身学校長が証明した「調査書」（厳封されたもの）を提出してください。
- (2) 高等専門学校第3年次修了者および修了見込者は、出身学校長が証明した「調査書」（厳封されたもの）を提出してください。
- (3) 高等学校卒業程度認定試験合格者（廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む）は、「合格成績証明書」を提出してください。合格見込者は、成績の記載された「合格見込成績証明書」を提出してください。
- (4) 外国における12年の課程を修了した者は、出身学校長が証明した「修了証明書」ならびに「成績証明書」を提出してください。なお、日本の高等学校にも在籍していた場合は、日本の高等学校の「成績証明書」または「調査書」（厳封されたもの）をあわせて提出してください。
- (5) 同一志願票で複数の学部・学科・専修に出願する場合、調査書は1通のみ提出してください。
- (6) 提出された「調査書」は、合否判定には使用しません。

《注意》「調査書」および「証明書」記載の氏名が、現在の氏名と異なる場合は、同一人であることを証明する公的な書類を添付するか、もしくは本学交付の用紙「氏名確認証明書」を添付してください。提出された書類は同一人であることの確認以外での用途では使用しません。「氏名確認証明書」が必要な場合は出願前に入学センターへ問い合わせてください。なお、入学後に旧姓の使用を希望するものは、届け出により許可されます。詳細は合格者に対して送付する「入学手続の手引」を参照してください。

### 3. 本学在籍を証明するもの（本学に在籍歴のある者のみ）

本学（大学院含む）を卒業（修了）または退学した者および卒業（修了）見込者が、再び入学する場合は、入学金を2分の1相当額（「入学試験要項 一般入試（個別学部日程）編」30頁参照）としますので、卒業（修了）または退学した者は卒業（修了）証明書または退学証明書を、卒業（修了）見込者は卒業（修了）見込証明書を提出してください。出願期間内に提出された場合のみ入学金は減免されます。なお、提出される証明書は、在籍の確認以外の用途では使用しません。

《注意》入学後に健康診断を行いますので、健康診断書を提出する必要はありません。

# 7. 入学志願票記入上の注意

下記の注意事項をよく読み、記入例を参照して間違えないように記入してください。

1. 入学志願票は一般入試（個別学部日程）用と一般入試（全学部日程）用、大学入試センター試験利用入試用の3種類があります。一般入試（個別学部日程）に出願する場合は、別冊の「入学試験要項 一般入試（個別学部日程）編」を、一般入試（全学部日程）に出願する場合は、別冊の「入学試験要項 一般入試（全学部日程）編」をそれぞれ参照してください。
2. A票・B票・C票とも黒のボールペンを使用して、枠内に記入してください。
3. A票・B票・C票とも文字は楷書体で丁寧に記入してください。なお、カタカナ、アルファベット、数字とも、下表の「記入標準字体例」に記載された文字を参照し、正確に記入してください。

記入標準字体例	手書き文字記入ルール
<p>● 数 字 <span style="color: red;">○△L</span> 記入上のポイント</p> <p>0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 -</p> <p>● アルファベット</p> <p>A B C D E F G H I J K L M</p> <p>N O P Q R S T U V W X Y Z</p> <p>● カタカナ</p> <p>ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ</p> <p>タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ</p> <p>マ ミ ム メ モ ヤ ヅ ヨ ラ リ ル レ ロ</p> <p>ワ ヲ ン ン ° -</p>	<p><b>良い例</b>      <b>悪い例</b></p> <p>8 0 セ      8 0 セ <small>かすれないように濃く</small></p> <p>6 Q タ      6 Q タ <small>つなぐべき線は確実につなぐ</small></p> <p>0 K ク      0 K ク <small>余計なヒゲを出さないように</small></p> <p>2 G ミ      2 G ミ <small>枠内に大きく</small></p> <p>9 T ナ      9 T ナ <small>文字枠からはみ出さないように</small></p> <p>8 A シ      8 A シ <small>つぶれないように</small></p>

4. 誤って記入した場合は、修正液・修正テープ等で訂正し、上から丁寧に記入し直してください。ただし、B・C票は、必ず二重線と本人訂正印で修正してください。
5. A票は機械で読み取りますので、汚したり、折り曲げたりしないでください。
6. 整理番号シールは、はがさないでください。

## A票(表面)

氏名欄	カナ欄はカタカナを用いて左端から1マスに1字ずつ記入し、濁点・半濁点も1マス分として使用してください。
性別欄	該当する性別のマーク欄を塗りつぶしてください。
写真貼付欄	あらかじめのり付けしてありますので、シールをはがして写真を貼付してください。写真は出願前3か月以内に撮影したもので、タテ4cm、ヨコ3cm、半身脱帽、正面向き、背景のない、顔の鮮明なものを使用してください。白黒、カラーいずれでも可。スナップ写真の切り抜き、デジタルカメラの写真等の不鮮明な写真は受け付けません。また、髪の毛が顔にかかっているなど、顔が判別しにくいものも避けてください。
郵便番号欄	数字の見分けがつくように、はっきりと記入してください。
電話番号欄	大学から志願者本人に確実に連絡できる電話番号を記入してください。市外局番、局番、番号の間に－(ハイフン)を入れ、左端から記入してください。電話が呼び出しの場合のみ、右端の「X」欄に「X」を記入してください。
住所氏名欄	受験票、合格通知書、入学手続完了通知の送付先となりますので、これらの郵便物を確実に受け取ることができる住所を記入してください。また、「住所」欄は、志願者が記入した文字そのものを上記郵便物の宛名欄に転写しますので、はっきり丁寧に記入してください。
出身高校名および高校コード欄	出身高校名を記入し、高等学校等コード表(「入学試験要項 一般入試(個別学部日程)編」34～53頁参照)により該当するコード番号を記入してください。高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、「認定合格」または「大検合格」と記入し、そのコード番号を記入してください。
卒業(見込)年月欄	卒業した年月または卒業見込みの年月を記入してください。その際、年は西暦で記入し、月が1桁の場合は、頭に0を付けてください。また、高等学校卒業程度認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定に合格した者を含む)は、合格した年月を記入してください。高等学校卒業程度認定試験合格見込者は、「2007年03月」と記入してください。
調査書欄	概評、平均とも記入しないでください。
生年月日	生年月日(19〇〇年〇〇月〇〇日生)を記入してください。その際、年は西暦で記入し、月または日が1桁の場合は、頭に0を付けてください。ここで記入された生年月日のうち、誕生日(〇〇月〇〇日)を「電話による入試合否案内システム(別冊「入学試験要項 一般入試(個別学部日程)編」20～24頁「『電話による入試合否案内システム』について」参照)」で利用しますので正確に記入してください。
携帯電話番号欄	携帯電話をお持ちの場合は、記入してください。
大学入試センター試験成績請求票貼付欄	大学入試センター試験受験票を受領した際、交付を受けた「センター試験成績請求票(私立大学・短期大学用)」をこの枠内に貼付してください。貼付欄はあらかじめのり付けしてありますので、シールをはがして貼付してください。
大学入試センター試験受験番号記入欄	貼付した「センター試験成績請求票(私立大学・短期大学用)」の受験番号を転記してください。
志望学科・専修数	志望学科・専修数を数字で記入してください。志望学科・専修数が1桁の場合、頭に0を付ける必要はありません。
金額欄	志望学科・専修数×15,000円の合計金額を数字で記入してください。金額が5桁の場合、頭に0を付ける必要はありません。また、¥マークも不要です。
収納証明書貼付欄	選考料をコンビニエンスストアから納入した者は、納入時に店頭で渡された「入学検定料・選考料取扱明細兼受領書」の「収納証明書」部分を切り取り、全面のり付けして枠内に貼付してください。 なお、選考料を金融機関から納入した者は、収納証明書等の貼付は不要です(金融機関収納印が押されていることを確認してください)。

## A票(裏面)

氏名欄	氏名を漢字で記入してください。
志望学部・学科・専修欄	志望学科・専修の該当するマーク欄を塗りつぶしてください。

## B・C票(選考料をコンビニエンスストアから納入した者は、使用しません)

所定欄に必要な事項を記入してください。金額は、A票(表面)で記入した金額を、それぞれB票、C票に記入してください。振込先銀行は、B票の中から1つ選んで○をし、C票には○を付けた銀行名、支店名を記入してください。選考料を金融機関で納入した者はその金融機関で、コンビニエンスストアで納入した者は自分で切り離してください。



志願票記入例  
(A票裏面)

大学入試センター試験利用入試

志望学部・学科・専修 ※志望学科・専修の該当するところをマークしてください。

志望学部・学科・専修	
文学部	<input type="checkbox"/> キリスト教 <input type="checkbox"/> 史 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 英米文学 <input type="checkbox"/> ドイツ文学 <input type="checkbox"/> フランス文学 <input type="checkbox"/> 日本文学 <input type="checkbox"/> 文芸・思想
	<input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 会計ファイナンス <input checked="" type="checkbox"/> 経済政策
経済学部	<input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 会計ファイナンス <input type="checkbox"/> 経済政策
	<input type="checkbox"/> 物理 <input type="checkbox"/> 化
理学部	<input type="checkbox"/> 数 <input type="checkbox"/> 物理 <input type="checkbox"/> 化 <input type="checkbox"/> 生命理
	<input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 現代文化 <input type="checkbox"/> メディア社会
社会学部	<input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 現代文化 <input type="checkbox"/> メディア社会
	<input type="checkbox"/> 法 <input type="checkbox"/> 政治 <input checked="" type="checkbox"/> 国際ビジネス法
法学部	<input type="checkbox"/> 法 <input type="checkbox"/> 政治 <input type="checkbox"/> 国際ビジネス法
	<input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 交流文化
観光学部	<input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> 交流文化
福祉学部	<input type="checkbox"/> 福祉 <input type="checkbox"/> コミュニティ政策
経営学部	<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際経営
	<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際経営
学部	<input type="checkbox"/> 心理 <input type="checkbox"/> 映像身体

志望する学科・専修マーク欄を黒のボールペンで塗りつぶしてください。  
大学入試センター試験利用入試では、全ての学科・専修・方式を併願することができます。

※表面の志望学科・専修数を数字で記入してください。

※表面の金額欄に、合計金額を数字で記入してください。

大学入試センター試験利用入試出願用封筒(桃色)を使用して出願してください。

## 8. 受験票の交付

1. 受験票は本学で学科・専修ごとに作成し、入学志願票（A票）に記入された住所へ速達で郵送します（郵送料は本学で負担します）。
2. 受験票の発送には、**本学が受け付けた後10日程度**かかります。2007年1月26日（金）になっても受験票が届かない場合は、入学センター（☎03-3985-3293）に問い合わせてください。
3. 受験票を受け取ったら、**受験票の記載事項（学部・学科・専修、住所、氏名、センター試験成績請求票、生年月日、誕生日）が、入学志願票（A票）に記入した事項と同じであるか必ず確認してください。**記入した事項と受験票記載事項が異なっている場合は、ただちに入学センターへ申し出てください。

## 9. 合格発表

### 1. 合格者の発表

- (1) 合格者の発表は、8頁に記載した「合格者発表日時」に、池袋キャンパス内の合格発表所（別冊「入学試験要項 一般入試（個別学部日程）編」16頁「案内図」参照）において、受験番号の掲示によって行います。
- (2) 大学入試センター試験利用入試には第2回合格者発表および第3回合格者発表はありません。
- (3) 受験生の便宜を考慮し、補助的な手段として「電話による入試合否案内システム」のサービスを行います。利用方法については、別冊「入学試験要項 一般入試（個別学部日程）編」20～24頁「『電話による入試合否案内システム』について」を参照してください。
- (4) 「電話による入試合否案内システム」のサービス以外の電話、郵便等による問い合わせには一切応じません。
- (5) 受験番号の掲示および「電話による入試合否案内システム」のサービスは、第1次入学手続締切日まで行います。
- (6) 合格発表所へは、18時まで入構できます。

### 2. 入学手続書類の送付

合格者には、入学手続書類を入学志願票（A票）に記入された住所宛に、合格発表日に**配達記録・速達**で発送します（窓口での交付は行いません）。

## 10. 入学手続

入学手続は、第1次手続と第2次手続とに分けて行います（ただし、第2次手続は、第1次手続と同時に行うことができます）。手続締切日までに所定の手続を行わない場合は、入学を許可しません。なお、詳細については合格者に郵送する「入学手続の手引」を参照してください。

### 1. 手続締切日

第1次手続：2007年2月23日(金)

第2次手続：2007年3月12日(月)

### 2. 第1次手続

第1次手続は、第1次手続締切日までに「入学申込金」を納入し、入学手続書類を本学に提出して完了します。

#### 「入学申込金」の納入について

第1次手続締切日までに、「入学申込金」として320,000円を金融機関（郵便局は利用できません）から電信扱いで振り込んでください（締切日の金融機関収納印有効）。ただし、ATM機による振り込みはできません。

いったん納入された「入学申込金」は、返還しません。また、第1次手続締切日までに「入学申込金」を納入しない場合は、第2次手続を行うことができません。

なお、納入された「入学申込金」は、第2次手続の際に「入学金」に充当します。

#### 入学手続書類の提出について

第1次手続締切日までに次の書類を本学所定の封筒を用いて、配達記録・速達で郵送してください（締切日の郵便局消印有効）。いったん提出された入学手続書類は、いかなる理由があっても返還しません。

(1) **保証書** 本学交付の用紙に所定事項を保証人（父母、またはそれに代わるべき者）が記入し捺印したもの。

**個人情報提供同意書** 本学交付の用紙に所定事項を入学者本人が記入し捺印したもの。

(2) **学籍関連事項整理票** 本学交付の用紙に所定事項を記入し、指定の写真を貼付したもの。

(3) **住民基本台帳記載事項の証明書** 本学交付の用紙に所定事項を記入し、当該市区町村役所において証明を受けたもの。外国人は**登録原票記載事項証明書**（「留学」等の在留資格が明記されたもの）を提出してください。

(4) **卒業証明書** 高等学校卒業見込みで受験した者は提出してください（卒業見込証明書を提出する必要はありません。また、2006年3月以前に高等学校を卒業した者は卒業証明書を提出する必要はありません）。卒業式が終了していないために、第1次手続締切日までに提出できない場合は、卒業式終了後、2007年3月31日（土）までに入学手続所に郵送してください。

高等学校卒業程度認定試験合格見込みで受験した者は、その**合格成績証明書**を提出してください。

#### 第2次手続の延期（延納）について

3月12日（月）以降に合格発表（学部1年次入試の正規合格発表に限る）のある本学以外の大学を併願しているため、「学費その他の納入金」の納入の延期（延納）を希望する場合は、第1次手続とあわせて延納手続を行ってください。延納手続を行った者（延納手続者）に限り、第2次手続締切日を**3月23日（金）**まで延期できます。

### 3. 第2次手続

#### a) 「学費その他の納入金」の納入

第2次手続は、第2次手続締切日までに「学費その他の納入金」を本学に納入して完了します（「学費その他の納入金」は、第1次手続時に「入学申込金」と同時に納入することもできます）。

納入に際しては、**全納**（入学手続時に全額納入）、または**分納**（学費のうち授業料ならびに施設費について、入学手続時と9月に2回に分けて納入）のいずれかを選択し、所定の金額を金融機関（郵便局は利用できません）から**電信扱い**で振り込んでください（締切日の金融機関収納印有効）。ただし、ATM機による振り込みはできません。

なお、第1次手続締切日までに「入学申込金」を納入していない場合は、第2次手続を行うことができません。

第2次手続納入金一覧表

（単位：円）

学部 方法	文学部	経済学部	理学部	社会学部	法学部	観光学部	コミュニティ 福祉学部	経営学部	現代心理 学部
全納	932,500	931,500	数物 物化 生 } 1,377,500 1,417,500 1,457,500	946,000	932,500	931,000	936,500	947,500	心 1,087,500 映 1,069,500
分納	478,500	477,500	数物 物化 生 } 699,500 739,500 779,500	492,000	478,500	477,000	482,500	493,500	心 563,500 映 545,500

注1. 「入学金」は、第1次手続で納入した「入学申込金」を充当します。

2. 納入金の内訳については、「入学試験要項 一般入試（個別学部日程）編」30頁「学費その他の納入金一覧表」を参照してください。
3. 分納を選択した場合、授業料ならびに施設費については入学手続時と9月に2回に分けて納入することになります。納入については9月初旬にあらためて本学から保証人宛に通知します。
4. 奨学金や奨学ローンについては、「入学試験要項 一般入試（個別学部日程）編」の31頁以降を参照してください。

#### b) 大学入試センター試験受験票の提出

大学で記載内容を確認の上、返送します。

### 4. 学科・専修変更

2学科・専修以上に合格した場合、先に入学手続を行った学科・専修（**ア**学科・**ア**専修）の納入金を合格した他の学科・専修（**イ**学科・**イ**専修）の納入金に振り替え、学科・専修を変更（**ア**学科・**ア**専修から**イ**学科・**イ**専修へ）することができます。希望者は**イ**学科・**イ**専修の第1次手続締切日まで（受付時間：月～金曜日9：30～16：30）に本学財務課窓口で学科・専修変更手続を行ってください。なお、一般入試（全学部日程）、一般入試（個別学部日程）、大学院入試等他の入学試験で合格した学科・専修・専攻から大学入試センター試験利用入試で合格した学科・専修への変更も上記の手続により可能です。詳細は合格者に郵送する「入学手続の手引」を参照してください。

## 11. 入学辞退

本学の入学手続を行った後に、入学辞退を希望する者には、以下のA・Bいずれかの届け出により、Aについては「入学金を除く学費その他の納入金」、Bについては「入学金を含む学費その他の納入金」をそれぞれ返還します。

それぞれの返還に関する手続の概要は以下の通りです。また合格者に対して送付する「入学手続の手引」に、より詳細な手続方法が記載されていますので、申請希望者は、さらに参照してください。不明な点は、入学センターまで問い合わせてください。

A. 本学の入学手続を行った後に、やむを得ない理由によって、入学の辞退を希望し、下記の方法で届け出た者には、「**入学金を除く学費その他の納入金**」を返還します（5月上旬振込予定）。

申請締切日：2007年3月31日（土）必着

提出書類：①入学辞退届（大学所定用紙） 所定用紙は入学センターにて配付します。

②授業料等の「入学手続納入金領収書」（コピー可）

B. 本学の入学手続を行った後に、卒業の不可などが確定し、入学資格要件を満たすことができなくなった者には、下記の方法での届け出により「**入学金を含む学費その他の納入金**」を返還します（5月中旬振込予定）。

申請締切日：2007年4月14日（土）必着

提出書類：①入学辞退届（大学所定用紙） 所定用紙は入学センターにて配布します。

②授業料等の「入学手続納入金領収書」（コピー可）

③卒業の不可などが確認できる証明書

《注意》入学辞退届を提出した後の辞退取り消しは認めません。

## 12. 入学者健康診断

1. 健康診断は、入学後に本学で行います。日時・場所は入学手続完了者に郵送する「オリエンテーション行事表」を参照してください。
2. 上記の健康診断の結果、重大な疾患等により修学困難と認められた場合は、休学等の措置を勧告することがあります。

## 13. 寄付金の募集

本学では、寄付金の募集を、入学者に対して実施しています。詳細は、2007年4月に保証人宛に送付する案内をご覧ください。